

【厚生委員会】

(1) 審議概観

第134回国会において本委員会に付託された法律案はなかった。

なお、第132回国会衆議院議員提出の臓器の移植に関する法律案は、衆議院において引き続き継続審査とされた。

本委員会付託の請願は、19種類167件のうち4種類38件が採択された。

〔国政調査等〕

10月31日、准看護婦制度、新高齢者介護システム、H I V訴訟と薬務行政、児童の健全育成、被爆者援護対策、社会保障制度審議会勧告、戦傷病者戦没者遺族等援護法の適用等の問題について質疑が行われた。

また、先国会閉会中の9月11日から13日にかけて、保健医療・福祉に関する実情調査のため、北海道へ委員派遣を行い、10月31日に報告を行った。なお、派遣先においては、北海道大学医学部附属病院、西円山病院、三笠市、北海道介護福祉学校、北海道立福祉村、国立登別病院を視察した。

(2) 委員会経過

○平成7年10月31日（火）（第1回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 社会保障制度等に関する調査を行うことを決定した。
- 派遣委員から報告を聴いた。
- 准看護婦制度に関する件、新高齢者介護システムに関する件、H I V訴訟と薬務行政に関する件、児童の健全育成に関する件、被爆者援護対策に関する件、社会保障制度審議会勧告に関する件、戦傷病者戦没者遺族等援護法の適用に関する件等について森井厚生大臣、政府委員、文部省、総理府及び法務省当局に対し質疑を行った。

○平成7年12月14日（木）（第2回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 請願第105号外37件は、採択すべきものにして、内閣に送付するを要するのと審査決定し、第3号外128件を審査した。
- 社会保障制度等に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。